

研究内容の説明文

説明用課題名* (括弧内は申請課題名)	AI 技術に基づき献血副作用のリスクを判定する試み (深層学習による献血副作用のリスク評価の検討)
研究期間	承認日より 2025 年 3 月 31 日まで
研究機関名	東京都赤十字血液センター 事業推進二部医務課
研究責任者職氏名	非常勤医師 近藤 学

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

- 研究の目的、意義、予測される研究の成果等
献血時の副作用として気分不良や転倒が起こることがあります。発生が稀なため、既存の方法にて予測することには限界があります。今回は AI 技術を使用することで献血時の副作用のリスクの予測精度が向上することが期待できます。
- 使用する献血者の試料と情報の項目
献血血液等の種類：なし
献血血液等の情報：2019 年 1 月～12 月に 400mL 全血献血された方の性別、年齢、身長、体重、献血歴、過去の副作用歴、献血場所、血圧、脈拍数、睡眠時間、欠食時間、当日の採血副作用情報。
- 共同研究機関及びその研究責任者氏名
《献血血液等を使用する共同研究機関》
該当なし
《献血血液等を使用しない共同研究機関》
該当なし
- 献血血液等を利用又は提供を開始する予定日
2024 年 8 月 31 日（倫理審査終了 1 か月後を設定）
- 方法《献血者の試料・情報の使用目的・使用方法含む》
献血血液等のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。
《研究方法》
2019 年 1 月～12 月に東京都赤十字血液センター内での 400mL 全血献血にご協力をしていただいた方の上記の献血者情報から学習用データと検証用データを作成します。AI 技術に基づき学習用データを学習させて献血時の副作用の発生リスクを予測します。検証用データにおける副作用の有無の情報に着目して、AI 技術に基づくリスク予測の信頼性を評価します。
- 献血血液等の使用への拒否について
献血者情報を今回の解析に使用されたくない旨のお申し出をされた場合、お申し出された方の情報は一切使用いたしません。また、お申し出された方に何ら不利益が発生することはございません。

7 上記 6 を受け付ける方法

下記の問い合わせ先に、情報の利用について拒否する旨を申し出てください。

所属	東京都赤十字血液センター 事業推進二部
担当者	難波寛子
電話	03-5272-3511
Mail	n-namba@kts.bbc.jrc.or.jp